

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

率直な意見、熱心な質問を通じて

家族ぐるみでの団結うち固める

三月六日、千葉市小仲台地区、七日、宮崎地区において、家族会懇談会が開かれました。国鉄労働者・家族は、一年先にどうなるのかまったくわからない状態におかれ、不安な気持ちで日々を過ごしています。懇談会には多くの家族がかつけ真剣な話し合いが行われ、家族ぐるみでたかうことで首切り攻撃をはね返していくことを確認しました。

小仲台地区(3/6) 宮崎地区(3/7)で 家族会懇談会

三月六日、小仲台地区懇談会

三月六日の小仲台地区家族会懇談会は、国鉄小仲台宿舎で開かれ、家族会、組合員十三人が参加しました。

まず、中野委員長から「国鉄労働者・家族をとりまく情勢について」と題して講演をうけました。

中野委員長は、分割・民営化とは歴代政府・自民党と財界がグルになり、国鉄を食いものにしてきた結果としての国鉄破綻の責任の一切を、国鉄労働者と国民におしつけるものであること、戦争への道を突き進む中曽根内閣が、反対勢力の中心―国鉄労働運動をつぶす攻撃である

こと。新会社に残る者も国鉄から追い出される者も大変な状況下におかれる以上、団結し闘う以外に平和と生活は守れないこと。そのためには家族ぐるみでの闘いが求められていることが話されました。

懇談会では家族会の方から、「どうして動労千葉だけ闘って国労は闘わないのか」「処分者が出て財政は大丈夫か」「ストライキでどれ程のメリットがあったのか」等々、多くの質問が出されました。家族会の熱心な質問に対し、中野委員長から具体的な回答がされ、最後に、お父さんを支え、家族ぐるみで闘っていくことを確認して懇談会を終えました。

私の会社でも動労千葉に対して批判する人は多くいます」等々、率直な意見が出されました。

中野委員長は一人一人の質問に、わかりやすく答え、中曽根内閣や国鉄当局の理不尽なやり方に怒りに燃えて起ち上り、家族会を結成し、家族ぐるみで闘っていくことを訴えました。

懇談会は、委員長の提起を確認し、二時三十分、成功裏に終了しました。

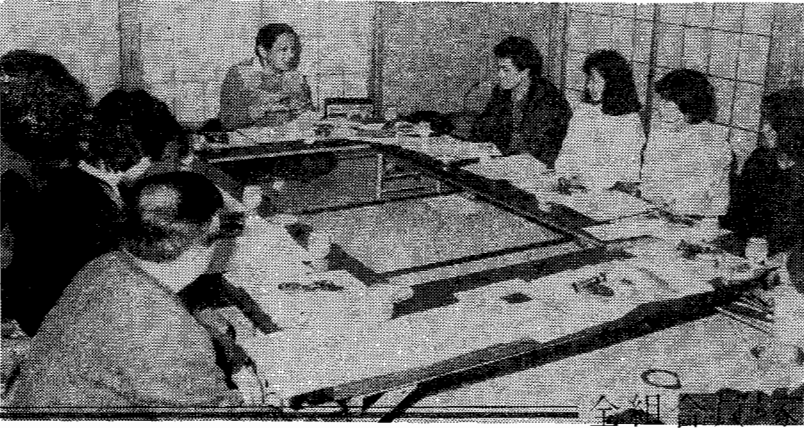
三月七日、宮崎地区懇談会

三月七日、宮崎地区家族会は共栄会館に家族会、組合員十二名が参加して開かれました。

中野委員長の講演のあと懇談会に移り、全員から発言をうけました。

すなわち、「私は主人が解雇されて一カ月位落ちこみました、ようやく立ち直ってがんばっています」「主人は組合のことについて余り話しません」「動労千葉にはストに反対の人もいると思いますが、それでもストはやるのですか」

3/13(木) 天台地区家族会
3/15(土) 木更津地区 家族会懇談会



家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ